

事故注意地点を案内する無料カーナビアプリ 「転ばぬ先のナビ」をリリース！ ～阪神高速を經由する方に事故注意地点を案内～

株式会社ゼンリンデータコム(所在地:東京都港区港南、代表取締役社長:清水辰彦)は、事故リスクデータ活用を研究する「阪神都市圏交通事故リスクマネジメント研究会」※1の一環として、事故注意地点を案内するAndroid™端末専用の無料カーナビアプリ「転ばぬ先のナビ」を2017年12月1日(金)にリリースいたしました。本アプリは阪神高速道路株式会社が提供した事故注意地点を基に、阪神高速上の事故注意地点約60箇所所で注意喚起(画面表示と発話)を行います。※2

また、自動更新によるゼンリンの最新地図表示、リアルタイムの交通状況(VICS渋滞情報/規制情報)の提供、交差点や分岐での音声案内、方面看板や交差点拡大図による誘導案内など、本格的なナビ機能を提供します。

本アプリの提供は、2017年12月1日～2018年2月末(予定)で、「転ばぬ先のナビ」で阪神高速道路を走行する運転者へ危険箇所を案内し、注意喚起を行う実証実験を行います。

【主な機能】

■自動更新でゼンリン最新地図を表示

- ・建物やランドマークをひと目で判断でき、現在位置を直感的に判断することが可能
- ・地図を拡大することで建物名や形状、細街路までを表示

■交差点や分岐での音声案内

- ・ナビ中に交差点や分岐に近付くと音声で案内
- ・交差点名称の読み上げに対応
- ・方面看板や交差点拡大図を表示
- ・レーン情報を表示

■高速道路でのナビ案内

- ・通過予定のサービスエリアやパーキングエリア、ジャンクション等を専用画面で表示
- ・ジャンクション、料金所、合流地点、高速道路出口に近付くと音声で案内
- ・ジャンクション分岐、料金所のETCレーン、高速道路出口の案内画像を表示

■阪神高速道路の事故注意地点を収録

- ・事故注意地点は、過去の事故データを当時の気象状況、運転者の性別・年代・日常的に運転をする職業かを分類して整備
- ・阪神高速道路を含むルート案内では、事故注意地点に近づくると運転者の性別・年代・職業にあわせて危険地点を通知音と音声で案内



※1

阪神都市圏交通事故リスクマネジメント研究会とは

事故リスクデータを活用した交通安全の実現に向け、阪神高速道路株式会社を事務局として、学識経験者やナビ会社、自動車会社、損保会社、高速道路会社などで組織する研究会です。なお本研究会は、交通工学研究会が実施する自主研究「交通事故リスクマネジメントに関する研究」の分科会に位置づけられています。本研究会では、京阪神地区の事故発生地点の整備・リスク分析をすすめており、事故注意地点(事故多発地点)の整備とあわせ、整備データの活用による安全運転への啓蒙活動を進めています。

「阪神都市圏交通事故リスクマネジメント研究会」での取り組みについて

<http://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/driver/safety/accidentrisk.html>

※2

阪神高速道路以外の道路上(一般道や他の高速道路など)では事故注意地点の通知はありません。

お客様お問合せ先

下記の「お問い合わせ」ページよりご確認ください。

<http://www.zenrin-datacom.net/contact/index.html>

商標について

- * 記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。
- * 画像の掲載にあたっては以下のコピーライト表記をお願いいたします。

(C)2017 ZENRIN DataCom CO., LTD.

会社概要

会社名 : 株式会社ゼンリンデータコム (<http://www.zenrin-datacom.net/>)

本社 : 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟 6 階

代表者 : 代表取締役社長 清水 辰彦

設立 : 2000 年 4 月 13 日

資本金 : 2,283,010 千円 (2017 年 4 月 1 日現在)

事業内容 : ITS 事業 高精度な地図データを活用したテレマティクス事業の展開

ネットサービス事業 地図をベースとした法人向け付加価値情報サービスの提供

コンシューマー向け事業 「いつも NAVI」をメインとした、

地図・ナビゲーションサービスの提供

従業員数 : 301 名 (2017 年 4 月 1 日現在)